

平成 29 年度大規模災害協定に基づく連絡会(南薩ブロック)議事録

場 所 : 南薩地域振興局 本館 3 階第 2・3 会議室

期 日 : 平成 29 年 6 月 7 日 (水) 14:00~15:00

出席者 : 【南薩地域振興局】 8 名

建設部長 (渡邊敏晴)
土木建築課長 (城戸清志) 道路維持係長 (平峰英利)
河川港湾課長 (塚田浩之) 河川砂防係長 (相星憲志)
指宿市駐在技術主幹 (新地正志) 技術調整係長 (加治屋勝行)
土木技師 (下瀬健次)

【(公社)鹿児島県測量設計業協会】 12 名

会 長 (安永幸信) 副会長 (坪内己喜男) 理事 (塚脇 伸)
連絡責任者(正) (株)南日本技術コンサルタント(谷口)
連絡責任者(副) (株)岩元測量設計 (吉留)
地元業者 (株)日峰測地 (室屋)
三州技術コンサルタント(株) (寺田)
アイ技研 (株) (宮下)
(株)大進 (中野)
中央テクノ(株) (塩鶴)
大和測量設計(株) (前田)
(株)萩原技研 (立和田)

【(公社)鹿児島県地質調査業協会】 9 名

理事長 (宇都忠良) 副理事長 (岩田秀樹) 理事 (今村 貢) 理事 (川邊信也)
理 事 (田淵 彰) 監 事 (川崎 修) 支援本部役員 (満尾裕一)
南薩ブロック班長 アジアテック(株)(肥後)
南薩ブロック副班長 (株)第一地研開発(池田)

会議資料 : 【南薩地域振興局】

資料 1 会次第
資料 2 出席者名簿
資料 3 座席表
資料 4 大規模災害時における被災状況調査に係る支援協力に関する連絡体制
資料 5 災害支援協力のフロー図
資料 6 管内の公共土木施設概要

参考資料

- ①大規模災害時における被害状況調査の支援協力に関する協定書 (写し)
- ②大規模災害時における地質調査等の支援協力に関する協定書 (写し)

【(公社)鹿児島県測量設計業協会】

資料 1 大規模災害時における被害状況調査の応援支援協力に関する連絡体系図

資料 2 災害支援協力のフロー図

資料 3 大規模災害時における被害状況調査の支援協力に関する協定(経緯)

資料 4 大規模災害時における被害状況調査の支援協力

【(公社)鹿児島県地質調査業協会】

資料 1 大規模災害時における地質調査等の支援協力に関する協定経緯等

資料 2 大規模災害時における地質調査等の支援協力要請提出物様式

資料 3 大規模災害時における地質調査業協会の緊急連絡先・支援本部連絡体系図

議事録（司会・進行：技術調整係長 加治屋勝行）

1. 挨拶（14：00）

南薩地域振興局	建設部長	渡邊 敏晴
(公社)鹿児島県測量設計業協会	会長	安永 幸信
(公社)鹿児島県地質調査業協会	理事長	宇都 忠良

2. 平成 29 年度の連絡体制について(振興局より)

資料 4,5 に基づき連絡体制等の説明

(※資料 4 については個人情報が含まれているため取扱に十分注意すること)

3. 管内における公共土木施設等の状況について(振興局より)

資料 6 に基づき施設状況等の説明

4. 大規模災害支援協力について(測量設計業協会より)

資料 1～4 に基づき支援協力等の説明

5. 大規模災害支援協力について(地質調査業協会より)

資料 1～3 に基づき支援協力等の説明

6. 意見交換（測量設計業協会のみ）

【振興局より】

平成 28 年の大隅地域の調査ではどの程度カバーすることができたのか？

【測量設計業協会より】

道路災害 4 地区、河川災害 15 地区の合わせて 19 箇所すべてを調査することができました。国が推進しているドローンなどの活用が普及してくると、支援の幅はさらにひろがると考えます。また、建設部長より後日、感謝状をいただき、協会にとっては非常に有難く士気が高まる。

【振興局より】

平成 28 年の大隅地域の調査で課題はありますか？

【測量設計業協会より】

アンケートを集計した結果にはなかったが、協会としては台帳などの借用等がもう少しスムーズに進められたら良いと感じます。

【振興局より】

情報が入り乱れることなどの課題はありますか？

【測量設計業協会より】

道路は被災箇所が比較的分かりやすいが、河川の被災箇所は目印がないため、スマートフォンなどで撮影した写真に位置情報を付けることができるシステム（アプリ）を協会として方向付を示せるよう今後の課題として取り組みたい。



連絡会議風景

